

平成3年
7月25日

第65号

発行 守谷町議会
編集 守谷町議会事務局
TEL (02974) 5-1111(内56)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

もりやまち

議会だより

もくじ

- ①ページ 議決内容
- ②ページ 一般質問
- ③ページ 研修報告ほか
- ④ページ



野木崎保育所

補正予算・条例改正など可決

固定資産評価審査委員に

寺田矩雄氏

平成三年第二回定例会が、去る六月二日から二日まで、一〇日間の会期で開かれました。
今回の定例会には、固定資産評価審査委員会委員の選任をはじめとする町長提出議案二二件と議員提出議案三件が提出され、いずれも原案どおり可決されました。

議決内容

- 報告
○平成二年度守谷町土地開発公社決算等
土地開発公社の平成二年度の決算と事業内容が報告された。
○平成三年度守谷町土地開発公社事業計画等
土地開発公社の平成三年度の事業計画及び予算内容が報告された。
- 選任同意
○守谷町固定資産評価審査委員会委員の選任
寺田矩雄氏(板戸井二一七・五四歳)の任期満了に伴い、再度同氏を選任するもの。
- 条例の制定
○取手都市計画守谷町野木崎大木地区地区計画の区域における建築物の制限に関する条例
野木崎大木地区の工業団地において、工業用地の細分化による建物の過密化や、公害型工場の立地を防止するなど、秩序ある土地利用の誘導を図り良好な環境を確保するため、罰則等をつけて規制するもの。
- 条例の一部改正
○守谷町印鑑条例
印鑑登録事務の電算化に伴う条例の改正と、字句の訂正をするもの。

米市場開放阻止に関する意見書

ガット・ウルグアイランドの農業交渉において、我が国政府は、各国の国民にとって伝統的に主たる栄養源となっている基礎的食糧についてはガット協定上輸入制限を明確に認めるよう主張し、米の完全自給という基本姿勢を貫いてきました。

しかしながら、同交渉の最終局面において、我が国政府が従来の姿勢を一步でも後退するのなら、稲作のみならず我が国農業全体がとりかえしのつかない打撃を被ることが懸念されます。

ガット農業交渉によって我が国米市場が開放されることになるなら、生産者の営農と暮らしが深刻な悪影響を受けるだけでなく、食料安全保障、環境保全、地域の伝統と文化、及び同経済の維持等の面から地域住民の生活にとって多様かつ長期的な影響が及ぶものと憂慮されます。

したがって、我が国政府がガット農業交渉において従来の姿勢から一步も後退せず、米の完全自給方針を堅持し、米の市場開放を阻止することを強く要望します。

平成3年6月21日

茨城県北相馬郡守谷町議会

(提出先)

内閣総理大臣、農林水産大臣、通商産業大臣

- 守谷町税条例
地方税法の一部改正に伴うもの。
○守谷町監査委員条例
地方自治法の一部改正により、監査の範囲が行政監査及び機関委任事務監査まで拡大されたことに伴うもの。
○守谷町医療福祉費の支給に関する条例
内部障害三級該当者を医療福祉費支給の対象とし、さらに乳児及び母子家庭の母子に対する医療福祉費支給の所得制限について限度額を引き上げるもの。
○守谷町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例
市町村非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例(準則)の一部改正に基づき、町消防団員の退職報償金の支給額を引き上げるもの。
- 守谷町議会委員会条例
地方自治法の一部改正に伴い、議会運営委員会及び参考人制度を条例化するもの。
- 守谷町議会会議規則
地方自治法の一部改正に伴い、議会運営委員会について条文化するもの。

請願陳情

- 補正予算
○一般会計補正予算(第一号)
歳入歳出それぞれ二億三三九六、〇〇〇円の増額補正で、補正後の予算額は九億九、四二五万二、〇〇〇円となった。
主な内容は、図書館用地買収費、庁舎設備工事費、松前台中学校校舎購入費、御所ヶ丘中学校校舎増築工事費などの増額と、給食センター増築工事を来年度までの継続事業とするもの。
○国民健康保険特別会計補正予算(第一号)
アルバイト賃金を予備費から充当するもの。
- 町道認定
○薬師台四丁目地内の民間開発による住宅地内の道路が整備完了したことに伴い、町道として認定するもの。
- ◆採択 三件
○私立幼稚園に対する補助金についての陳情
○板戸井中坪の道路拡幅改良工事に関する請願
○コメ市場開放阻止に関する請願
- ◆一部採択 一件
○守谷地先利根左岸河川敷利用によるゴルフ場・他の用地確保に関する要望
- ◆不採択 一件
○コメ輸入自由化反対自治体宣言を求める請願
- ◆継続審査 七件
○北守谷地区の八階建高層マンションの建設に係わる計画の変更を求める陳情
○小選挙区制、政党法反対に関する陳情
○同和対策の充実強化に関する要請
○同和対策についての基本的法律制定を求める決議に関する陳情
○「地域改善財団法」期限内に同和対策事業を基本的に完了させ、一般行政施策の引き上げ・充実で同和問題の解決を求める要請
○首都圏新都市鉄道通過に関する請願
○法期限内事業の完了、自立の条件整備をはかる経過措置の具体的保障を求める陳情

一般質問

(要旨)

広域事業について問う

浅野 進議員

浅野議員 ゴミの分別収集については、一般ゴミの徹底もさることながら破砕機にかける不燃ゴミの分別の問題が大きくなってきた。分別収集について、その後の状況を伺いたい。

学校教育について

浅野議員 郷小小学校は、プレハブ教室により児童増に対応しているようであるが、今後もプレハブ教室のままで対応していくのか。教育長 冷暖房機器を設置して暑さと寒さに対処しており、普通教室に比べ問題は少ないと思う。平成六年度以降には児童数が減少するのではないかと思われるので、今後の状況を見ていきたい。

浅野議員 愛宕地区から守谷小学校へ通う児童及びみずき野地区から愛宕中学校へ通う生徒の通学路について、現在の通学路は歩道がないなど危険なため、新たに通学路の設置をしていただきたい。

町長 誠に残念であるが、予算がつかなくては仕事ができないので、今後も合意しているか伺いたい。

町長 誠に残念であるが、予算がつかなくては仕事ができないので、今後も合意しているか伺いたい。

健康管理の充実を図れ

倉持 和夫議員

倉持議員 現在町では、国民健康保険加入者を対象に人間ドッグ検診に対して二万円の助成金を出しているが、助成金を出さなければ、その後の健康管理についての指導や健康状態についての調査をするべきではないか。

民生経済部長 現在町では、病院に委託している人間ドッグ

勤務時間について

倉持議員 町職員の勤務時間については、三月定例会

において一週間の勤務時間

を四六時間から四四時間に変更する条例が可決されたわけであるが、四月五月の勤務状況を見ると、相当数の超過勤務をしているようである。これはどのような解釈をすればいいのか。

助役 四月五月は税務関係

の確定申告、総務関係の選挙事務、あるいは年度当初ということでは超過勤務をしないで済まないものがあったわけである。また、これに限らず町民の希望によって休日、夜間等の会議に出席するものなどがあり、超過勤務せざるを得ない状況もある。今後はできるだけ超過勤務を抑えられようという体制をとりたいと考えている。

守谷沼

倉持議員 守谷沼の整備については、ほぼ完成したようであるが、沼の周りに擬木柵を巡らせてしまったために魚釣りができなくなった。また、沼の周囲に木柵を巡らせてしまったために魚釣りができなくなった。また、沼の周囲に木柵を巡らせてしまったために魚釣りができなくなった。

道路整備について

倉持議員 道路整備について、次の点で伺いたい。一、海老原町から原地区に通じる町道の拡幅についての現状を伺いたい。二、守谷中学校西側の町道二八七五号線から二八七二号線に抜ける私道を地権者から寄附をしていただき、町道として整備するということであったが、その後の状況を伺いたい。三、旭町地内の私道について、周辺住民より舗装整備の要望が出されていたが、その後の状況を伺いたい。四、愛宕踏切の立体交差計画について、その後の状況を伺いたい。建設課長 一、地権者の協力が得られたので、本年度中には工事が完了できると

経済課長 今回の整備は、

農業用溜池の整備というところで行ったわけであるが、従来から魚釣りの場として利用されてきた沼であるので、今後安全面を考えたうえで、レジャー施設的な利用ができるように十分検討をしたい。

用地買収費として二〇億円

を予算化しているというところで、早い時期に用地買収ならびに工事着工をしたいということである。

常磐新線について

倉持議員 常磐新線の問題については、ルートが決定していないということである。いろいろな噂が聞かれるが、地権者の意向を十分尊重し、スムーズに進められるようお願いしたい。

佐藤 弘子議員

佐藤議員 最近、自民党首脳の間で、コメ輸入の一部自由化容認論がみられるが、日本の基幹産業である農業を守る立場から、これには反対である。当町においても、コメ輸入自由化に反対する世論づくりを進めていく必要があると思うが、町の考えを伺いたい。

循環バスについて

佐藤議員 役場までの交通機関がないため、住民は非常に不便を来している。神栖町では関東鉄道と提携し、町内循環バスを運行しているとのことであり、当町でもこのような循環バスを運行していただきたい。企画調整課長 現在、循環バスの運行について、関東鉄道と前向きに協議を進めているところである。

マンション問題

佐藤議員 昭和六二年に北団地内の町有地が一般競売に付され、その土地に高層マンションの計画がされたわけだが、周辺住民から反対運動が起こり、今日に至っている。そもそも町有地という町民の共有財産が売られたことが問題であり、町

ゴルフ場建設について

佐藤議員 稲戸井調節池総合開発事業区域内にゴルフ場を建設するよう一部地権者から要望が出されているが、ゴルフ場の農業による汚染から住民の生活環境を守る意味でゴルフ場建設には反対である。

小川 一成議員

また、都市軸道路を建設するに当たっての周辺地区への影響等の問題が出されたが、特に減歩率の問題については、減歩を極力抑えたいという意向が強いので、現在調査をしているところである。

二、つくば市については、

あくまで基本計画の決定というところであり、正式なルートについては平成四年度中に発表されると思われる。今後のスケジュールについては、平成五年度より駅前地区の区画整理事業を始めたこととされている。

三、県では新線に沿った

道路を考えているが、町としては、ふれあい道路、国道二九四号等の既存の道路



整備された守谷沼

を通過して町外に出ていく車両を市街地を通らないで振り分けたいということで、稲戸井調節池計画地あたりから南北に走る道路を併せて作りたいて考えている。

水泳指導について

小川議員 学校教育における水泳の指導については、衣服を付けたままの水泳指導を行い、災害、事故等に対処する力を養うべきではないか。

教育長 いざというときのことを考えた場合、衣服を付けて泳いでおく経験も大事であると考えられるため、今後検討したい。

広域事業について

小川議員 常総運動公園ナイター施設設備について補正予算案が一部自治体の反対によって先送りにされてしまったということであるが、体育館の建設についても進展をしない現在、できるものから解決をしないか。また、ゴミ処理の分散方式については難しいと思われる。

町長 事務手続上の問題で先送りになったわけであり、

二酸化窒素測定の実施を

松本 明子議員

松本議員 車の排気ガスに含まれている二酸化窒素は、気管支喘息等の要因となるものである。今後環境を守るまじづくりを進めるために、町独自でこの二酸化窒素の測定を実施するとともに、測定地近辺の住民に対する健康チェックをお願いしたい。また、二酸化窒素の緩和策として、道路への植樹計画を立てていただきたい。

民生経済部長 二酸化窒素

九月にもう一度補正予算を出したいと考えている。

小川議員 体育館の建設と温水プールの建設にかかる費用について、仮に五〇億円かかるとして試算してみたら、このうちの八五パーセントを地域総合事業債として起債措置を受け、残り一五パーセントにあたる七億五、〇〇〇万円を七市町村で均等割三〇パーセント、人口割七〇パーセントで計算すると、三カ年事業として一番多い取手市で年六、〇〇〇万円、守谷町で三、三〇〇万円、藤代町で三、二〇〇万円ということになる。このくらいの負担を出しおしみていて、ゴミだけを守谷に運ばないといふのは守谷町の住民は納得できないので、これを理解していただけないのなら、ゴミ処理についても各自自治体で分散方式でやっていただきたいと思うがどうか。

町長 この試算については、内部で検討させていただきたい。また、ゴミ処理の分散方式については難しいと思われる。

路上駐車対策

松本議員 最近、アパート等の集合住宅の周辺に路上駐車が多く見受けられる。牛久市では集合住宅の駐車場の数を部屋数以上設けるように規制する条例をつくったとのことであり、当町でもこのような駐車場設置要綱をつくっていただきたい。

都市計画課長 当町では、開発行為に伴いアパート等の集合住宅を建設する場合は、開発行為等に関する指導要綱により一戸につき一台の駐車場を設けるようになっている。開発行為以外の場合は、口頭で一戸一台設けるよう指導している。また、駐車場設置要綱については今後検討していきたい。

マンション対策

松本議員 取手市では、高層マンション建設に伴う住民とのトラブルが発生しており、六月議会において、中高層建築物を建てる場合

の住民との事前協議や、話し合いがつかない場合の調停委員会の設置などを盛り込んだ条例を提案されたそうだが、当町でもこのような条例が必要ではないか。都市計画課長 当町では、開発行為等に関する指導要綱により、町との事前協議、標識の設置、周辺住民への説明会の実施などを指導している。取手市のような条例については今後検討していきたい。

福祉について

松本議員 寝たきり老人等の介護は、専門的な技術者でなければ介護を受ける側の要求に沿った十分な介護はできない。今後、専門技術者による介護スタッフを整備するなど在宅福祉を充実させるには、どうしてもお金が必要であり、安上りの在宅福祉は行っていない。社会福祉課長 高福祉は高負担の裏付けがなければならぬ。今後、在宅福祉を進めるにあたって、ホームヘルパー、ショートステイ、介護センターなどの充実に取り組みしていくわけだが、優秀な人材の確保が一番必要になってくると思うので、その待遇についても検討しなければならぬ。

松本議員 最近アトピー性皮膚炎が急増しており、その原因が食物アレルギーの場合、原因となる食物を除く除去食療法が第一のことである。そこで、当町における実態調査と対象児童に対する除去食給食を実施していただきたい。また、アレルギーの血液検査の多くは保険適用外で高額負担となるため、町からの補助と、さらに国・県からの援助を要請していただきたい。保健環境課長 実態調査に

安全な通学路の整備について

栗橋 義三議員

栗橋議員 県道藤代・板戸井・岩井線は、滝下橋を渡り西板戸井地区に入ると、道幅が狭く、カーブが多いなど大変危険な道路である。また、雨の日などには通学する児童が道路にできた水たまりを避け、はみ出して歩いているため大変危険であり、朝夕の交通量の多いときには、渋滞している状態である。そこで、児童生徒の安全な通学路を確保するために早期に改良工事をしていただければ、県に要望していただきたい。

草刈条例について

栗橋議員 空き地の草刈りについては、草刈り条例があるにもかかわらず、あまりのひどさに住民が自分たちの町内会や草刈りをした地区もあるが、この条例は昭和四八年にできたものであり、現在の状況にそぐわないものになっているので見直しを考えていただきたい。

栗橋議員 県と町が一緒になって地権者との交渉を行っており、県では平成四年度中には工事に取りかかれるようにしたいということである。



拡幅が望まれる西板戸井地区の県道

保健環境課長 区長会議等においても草刈りについていろいろな意見が出されており、近隣市町村の条例、施行規則等を参考にしながら、行政代執行等のある程度強制的なものを含んだ見直しをしたいと考えている。

広域にふさわしい体育館の建設を

大久保 進議員

大久保(進)議員 常総運動公園への体育館の建設については、広域圏内市町村の合意が得られないからといって規模を縮小することなく、環境センター建設当時の約束通り広域の規模にあったものを建設していただくようお願いしたい。町長 他の自治体では、守谷に作るのだから守谷の施設だという意識が強く真剣に考えてくれないというところと非常に残念であるが、当初の計画通り広域の施設として立派なものができよう今後努力したい。

水道事業サービスの向上を図れ

中村 力議員

中村議員 当町の水道会計は、大型団地への入居の遅れや県水の責任引取制により多額の累積赤字が生じたが、その後入居が進み、料金体系も二部料金制に改正され、さらにアサヒビールへの暫定給水も手伝って平成四年頃には累積赤字が解消できる見通しとのことである。そこで消費者からの水道料金をそのまま累積赤字の解消にあてるのではなく、消費者へのサービスに振り向けていくべきではないか。

水道事務所長 アサヒビール(株)への暫定給水により一時的に収益が上がるが、あくまでも長期的に考えていかなければならない。収益については、基本的に赤字

解消が前提となるが、その他どのようなサービスができるか研究していきたい。中村議員 水の供給を将来にわたって安定して行うには、水道事業に対する住民の理解と協力が必要であり、そのために無料給水日の設定や、その他いろいろと試行錯誤しながら、時代の変化に対応した多様な住民サービスを試みるべきではないか。助役 現在当町が確保している県からの受水量では、今後の人口増により平成七年頃には不足すると予想されるので、長期安定的な水の需給計画をしなければならぬ。また、水道事業運営協議会でも十分検討していただきたいと考えている。

請願・陳情について

中村議員 昭和六三年の二月議会で採択された「北園地内流入雨水の排水工事を求める請願」について、できるだけ早く買収を済ませ、工事を進めていただきたい。

都市整備部長 水路部分で一部境界認定が残っているため、年度末までには買収できるように進めていきたい。

中村議員 平成二年の六月議会において「暴走族追放都市宣言を求める陳情」が採択されており、速やかに実施していただきたい。

総務課長 本年度予算に立看板の設置費用二〇〇万円を計上しており、現在設置場所を検討中である。都市宣言についても本年度実施に向け関係機関と協議を進めている。

高齢者福祉について問う

西巻 健治議員

西巻議員 厚生省は六五歳以上の高齢者を対象にした健康、福祉の情報を把握するための健康台帳事業を決定したということであるが、

当町における健康、福祉の情報収集について一本化がされているのか伺いたい。

また、この情報収集は在宅福祉を充実させるためのものであると感じ取れるが、

当町においても在宅福祉の方向を取るというふうに取り組んでいるのか。

保健環境課長 高齢者サービスチームという組織の中で保健婦、家庭奉仕員が聞き取り調査した内容について話し合いをしているが、

今後更に一本化に向けた検討をしていく必要があると考えている。

民生経済部長 国の基本的な考え方としては在宅福祉

学校建設について

中村議員 この度、けやき台中学校の建設工事が大幅に遅れてしまったが、最近における労働力不足の状況や補助事業に伴う工期の短さなどを踏まえ、町は適正な契約の履行を確保するため万全の体制で取り組むべきであったと思うがどうか。

また、今回の遅延のてん末について報告書を提出していただきたい。

助役 工事の遅れを取り戻すために、毎日のように督促し、設計監理者に対しても厳重に注意、勧告するなど、最善の努力はしてきたことをご理解いただきたい。

教育長 工事遅延のてん末については、まとめて報告したい。

めている。

文化施設について

西巻議員 図書館の建設については、用地取得費として二億円の補正予算が計上され、建設に向けてスタートを切ったわけであるが、

現代の図書館は様々なニーズに対応できるものでなくてはならないと言われており、年間三万点から四万点の新刊書が発行される中、住民の要求する情報の傾向を調査しなくてはならないと思われるが、基本的な考えを伺いたい。

教育長 単に本を読むためのものではなく、文化のバロメーターと言われる図書館にふさわしい幅広い情報収集ができる内容のものを作りたいと考えている。

西巻議員 今後の人口増を想定すると、分館を含めた移動ライブラリー等のネットワークによる図書館事業

沿線を考えた道路整備を

椎名 七生議員

椎名議員 北園交差点については、常磐新線が開通すると今にもまして混雑すると思われるが、立体交差の計画があるのか伺いたい。

建設課長 県に問い合わせたところによると立体交差の計画はないということであるが、今後の守谷町の発展、交通体系を見ると必要であると思われるので、今後県と協議したい。

椎名議員 国道二九四号の拡幅工事に伴って、中央分離帯が設けられたわけであるが、中央分離帯によって沿線で商売を営んでいる方たちは大変な経済的損失を

受けているわけである。そこで、中央分離帯に代わる方法がとれないものか伺いたい。

建設課長 現在二メートルの幅員のものを二五メートルに拡幅している。二五メートル以上の道路については二メートルの中央分離帯を設けるという条項があり、それに基づいて県は整備を進めているということである。中央分離帯に代わるものについては、今後勉強したい。

椎名議員 常総ふれあい道路は交通安全面から歩道の切り下げがされていないと

を考えると必要はないと思うが、どうか。

町長 移動図書館についてはぜひ実現したい。

西巻議員 音楽愛好者が増えている中でコンサートホール

の建設が望まれているわけであるが、町民会館を建設するにあたっては、音響効果の優れたものを作りたいいただきたい。

教育長 考慮したい。

ハンコ行政について

西巻議員 テニスコート、野球場、あるいは学校施設の使用許可申請について、申請者のサインだけで受け付けることができないものか伺いたい。

都市整備部長 テニスコート、野球場の使用許可については、原則的に封印を持ってきたり、捺印したという決まりがあるが、忘れた場合はサインで受け付けるようにしている。

教育長 学校施設については、検討したい。

いうことで個人地への進入に不便をきたしているわけであるが、個人で進入のための傾斜を付けるなどかえって危険を生じているところがあり、その効果に疑問を持つが、どう考えているのか。

建設課長 公団で開発した区域内のふれあい道路と都市計画道路については、歩道の切り下げはせず裏側に六メートルの進入道路を設けて、まちづくりの景観をよくしようとしているわけである。また、個人での進入路の設置については、文書を持って警告している。

常磐新線について

椎名議員 利根川に常磐新線の橋が架けられると橋下駄の影響により大木流下地区の水害が心配される。この件については以前にも指摘したところであるが、その後の状況を伺いたい。

新線対策課長 ルートが決定していないため、はっきりしたことは分からないが、一番影響の少ない形ということで、常磐高速道路の橋下駄と同じような橋下駄数になるのではないかと考えている。

椎名議員 ルートについては、平成四年度に発表になるということであるが、町民の間では様々な憶測が飛び交い不安を抱いている方もいるので、町は毅然とした態度で不自然なルートをとらないようお願いしたい。

また、減歩率について、現在どのくらいの率を考えているのか伺いたい。

新線対策課長 ルートの決定については、技術的な問題が一番ウエイトを占めているため、公共用地を避けるかという安易な考えで決められるものではない。

減歩率については、調査をしている段階である。

取手市・石岡市体育館視察

総合体育館建設促進特別委

総合体育館等建設促進特別委員会が、去る六月二八日、総合体育館建設の先進地である取手市グリーンスポーツセンター並びに石岡市運動公園体育館を視察してきました。

この特別委員会は、常総広域組合事業による総合体育館、温水プール等の建設促進を目的として、去る三月議会において設置されたものです。

現在、常総広域組合では、環境センター関連施設の調査費が予算化され、体育館、温水プール等の検討がされており、常総運動公園への体育館建設は当初から約束されていたものであり、その早期建設と、規模についても将来に悔いを残さない広域事業としてふさわしい規模の施設が望まれます。このような状況を踏まえ、特別委員会では、総合体育館建設の先進地の状況を参考にすべく視察をしてきましたので、その概要を報告します。

●取手市グリーンスポーツセンター
○全体事業
敷地面積 五ヘクタール
建設年度 昭和六一年度
事業費 六五億八、四〇四万九、〇〇〇円(起債二四億六、七四〇万円)
内訳 用地費二億一、八三三万二、〇〇〇円
設計・管理費一億一、二一九万四、〇〇〇円
工事費五億三、三六二万四、〇〇〇円
維持管理費 二億九、二五〇万円
○総合体育館
延床面積 二一、三四〇・二四㎡
施設内容 第一体育館、第二体育館、武道室、

弓道室、トレーニング室、健康相談室、室内プール(五〇mハコリス)、会議室、研修室、和室、他
事業費 三六億九、六五〇万円
内訳 本体工事二二億九、〇〇〇万円、設計管理一億八、五〇〇万円、備品二億三、〇〇〇万円
●石岡市運動公園体育館
延床面積 五、九三六・二㎡
施設内容 メインアリーナ、サブアリーナ、事務室、応接室、医務室、幼児室、メインホール、他
建設費 一七億七、九八八万円(用地費除く)
平成二年八月開館

茨城県町村議長会長に

大久保隆司議長が就任



去る五月三〇日、茨城県町村議長会長会の理事会において、本町議会の大久保

隆司議長が、茨城県町村議長会長会の会長に選任されました。

この度の会長就任にあたって、町村間の緊密な連絡、協調のもと、各町村議会の円滑なる運営と、地方自治の発展並びに地域住民の生活・文化の向上、福祉の充実等のため、尚一層の活躍が期待されます。

自治功労表彰

去る六月一四日に開かれた茨城県町村議長会長会定時総会において、本町議会の大久保通議員、須賀吉則議員及び柳生力議員が、多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により表彰されました。伝達式は六月二〇日の本会議前に行われ、同時に守谷町と守谷町議会からも自治功労者として表彰されました。

